

感染予防に配慮した小学校の体育学習

器械運動(マット運動・跳び箱運動)の配慮事項

2020.10.1 札幌市教育委員会

<https://youtu.be/iN7GLPRwcDo>



【授業前】

- 手洗いの指導をしっかりと行う。
- 体育館のドアや窓を開けるなど、換気は可能な限り常時、困難な場合はこまめに行う。 (8分40秒)

【授業中】

<準備>

- マットを運ぶときは、四隅(マットのみみ)を持つように指導すると、お互いの距離が離れ、安全に運ぶことができる。
- 跳び箱を運ぶときは、両側を二人で持つなど、バランスよく運ぶよう指導する。
- マットや跳び箱は、間隔を十分に確保して置く。
- マットのみみを入れる、マットがずれたら元に戻すなど安全面の指導も行う。



<学び方の指導例>

- なるべく少人数で一つの場を使用できるようにする。
- マーカーやミニコーンなどで目印を置き、児童の間隔を十分に確保して動きを見合えるようにする。
- ローテーションで運動を行うようにする。
- 見ている子がアドバイスをしたり、着手や回り方などポイントをしばって見たりできるようにする。

・マット運動の学び方



・跳び箱運動の学び方



<場の工夫の例>

- できるだけ直接触れ合ったり、児童間の距離が近くなったりしないよう、場を工夫する。
- 児童同士による補助の代わりとなるような場を設定する。
- どの子も安全に、安心して運動できるような場を工夫する。

・シンクロマット



・壁(ろく木)倒立



・側方倒立回転



・台上前転



【授業後】

- 手洗いの指導をしっかりと行う。